

～はしっこアvol.7～



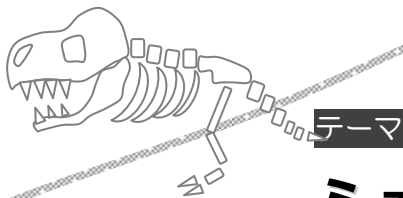
# 信越県境 地域づくり交流会

まなぶ・つながる・はじまる

国内有数の豪雪地帯で、中山間地域で、  
なおかつ地方都市の信越県境。  
少子高齢化、雪山離れ…  
課題はあれども、  
悩みの豪雪が  
無二のスノーリゾートを  
生み出すように  
課題は、磨けば光る  
魅力の原石でもあるのです。  
よく似たおとなりのまちは、  
どうやって原石をみつつけ、  
磨いたのでしょうか。  
そこで、おとなりのまちを、  
ちよつと拝見。  
ひとと知恵を紡いで、  
明日の信越県境を  
もっと楽しくしませんか。



Let's go!



## ミュージアムと地域づくり

日時

平成30年12月7日(金) 14:30~

12月8日(土) 9:30~

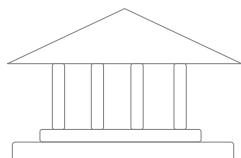


会場

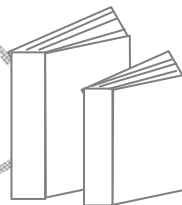
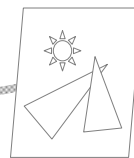
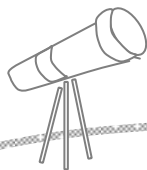
市民交流施設高田公園オーレンプラザ  
(新潟県上越市本城町8番1号)

参加費

無料 (情報交換会は実費)



Museum



主催 | 上越市創造行政研究所、信越県境地域づくり交流会実行委員会  
共催 | 一般社団法人雪国観光圏、信越9市町村広域観光連携会議 (信越自然郷)  
後援 | 新潟県、地域づくりネットワーク長野県協議会、一般社団法人信州いいやま観光局、  
公益財団法人八十二文化財団、信州大学学術研究・産学官連携推進機構、  
愛知大学三遠南信地域連携センター

## 開催趣旨

長野県と新潟県の県境をはさむ国内有数の豪雪地帯は、中山間地域や地方都市ならではの共通課題を数多く抱えています。魅力的な地域資源や意欲的な地域づくりの取り組みも数多く存在します。この地域が将来にわたり豊かであり続けるためには、歴史的にもつながりの深かった近隣市町村の人々がお互いに関心を持ち、境界を越えて交流・連携することが大切と考えています。

第7回のテーマは「ミュージアムと地域づくり」です。この地域には、博物館、美術館、水族館、科学館などの多種多様な魅力的なミュージアムが存在します。ミュージアムは、私たちの趣味や余暇活動の場を提供するだけでなく、人々が集い交流し、賑わいをもたらす、知識や感性を育むなど、これからの地域づくりにおいて大切な役割を果たすと考えています。このことは、図書館についても同様のことが言えます。

この会では、地域づくりの視点からミュージアムや図書館の魅力と可能性を学びつつ、私たちがこれらをどのように活用し育てていくことができるか、皆さんとともに考える機会にしたいと思います。日ごろからミュージアムと関わりのある方はもちろん、地域づくりに関心はあるけどミュージアムはあまり考えたことがないという方にこそ、ぜひご参加いただきたいと思います。

このエリア一体に存在する地域資源や取り組みの素晴らしさを再発見できたり、今後の活動へのモチベーションにつながったり、あるいは情報交換や切磋琢磨できる関係が生まれ、未来の地域づくりのパートナーが生まれるきっかけになれば幸いです。皆様のご参加をお待ちしております。

## プログラム

12月7日（金）

14:00

14:30 ~ 14:50

第1部 まなぶ

14:50 ~ 15:50

16:00 ~ 18:00

18:10 ~ 18:20

第2部 つながる

18:30 ~ 20:00

12月8日（土）

第3部 はじまる？

9:30 ~ 12:20

番外編 見学する

12:30 ~ 16:00

受付開始

開会あいさつ・趣旨説明

ミュージアムの持つ魅力やそれらを活かした地域づくりの可能性について学びます。

基調講演 「ミュージアムと地域づくり」

長野県立歴史館長・信州大学名誉教授 笹本 正治 さん

トークセッション 「ミュージアムを活かした地域づくり」

<パネリスト>

野尻湖ナウマンゾウ博物館 館長 近藤 洋一 さん

水野美術館 学芸員 高田 紫帆 さん

十日町情報館 主査 高橋由美子 さん

上越市立水族博物館うみがたり 館長 櫻 健太郎 さん

<特別ゲスト>

国際日本文化研究センター 国際交流基金フェロー キャロリン・ワグーラ さん

<進行役>

長野県立歴史館長・信州大学名誉教授 笹本 正治 さん

閉会

情報交換会

地元の料理や地酒などを囲みながら、立食形式にて登壇者や参加者の皆さんと交流を深めます。（参加費 2,000 円）

ディスカッション「ミュージアムを活かした信越県境地域づくり」

この地域のミュージアムを地域づくりに活かすアイデア（“こうなるといいな”）について、テーマに分かれて話し合います。

エクスカージョン

今年度リニューアルオープンした上越市立歴史博物館と水族博物館を訪問し、解説を聞きながら館内を見学します。（弁当代 1,000 円）

## 基調講演講師・進行役

長野県立歴史館長 ・ 信州大学名誉教授

(長野県千曲市)

笹本 正治 (ささもと しょうじ) さん

1951年山梨県生まれ。名古屋大学文学部助手、信州大学人文学部助教授、教授、信州大学地域戦略センター長、副学長などを歴任し、2016年から現職。

この間、戦国大名武田氏や真田氏などの実態解明、職人史・商人史、災害史など、日本の戦国時代を中心にして多方面から研究を実施。「歴史学」は人類がよりよい未来を構築していくために必須の学問との考えから、歴史館長としての業務のほか、歴史や地域づくりに関する講演活動、県内各地の自治体史の編纂委員や各種審議会委員などを務める。

著書は『甲信の戦国史』、『修験の里を歩く―北信濃小菅―』、など多数。趣味は旅行。



## パネリスト

野尻湖ナウマンゾウ博物館 館長 (長野県信濃町)

近藤 洋一 (こんどう よういち) さん

1955年東京都生まれ。信州大学大学院博士課程修了(理学博士)。学生時代から野尻湖発掘に携わり、1984年野尻湖ナウマンゾウ博物館の開館当時から学芸員として勤務。2016年野尻湖ナウマンゾウ博物館館長に就任。野尻湖発掘調査団の事務局も担当する。

専門は、古脊椎動物学、第四紀学で、日本各地のナウマンゾウの研究や古型マンモスの研究も進めている。

共著に「最終氷期の自然と人類」、「一万人の野尻湖発掘」、「野尻湖のナウマンゾウ」などがある。



水野美術館 学芸員

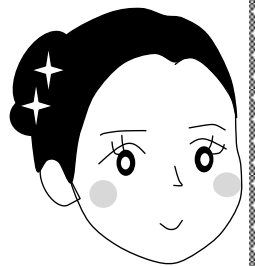
(長野県長野市)

高田 紫帆 (たかだ しほ) さん

1977年宮城県仙台市生まれ。大学時代は西洋美術史を専攻。安曇野市田淵行男記念館の入職を機に2009年から長野県へ移住。その後、長野県信濃美術館 東山魁夷館の学芸員を経て、2015年から現職にいたる。学芸員歴、長野歴ともに9年。

近年の主な担当展覧会は「横山大観×菱田春草展」、「上村松園展」など。今気になっている作家は長野県中野市出身の日本画家・菊池契月。

好きな信州の方言は「とびくくら」「もうらしい」。いつか「信濃の国」を歌えるようになりたい。



十日町情報館 主査

(新潟県十日町市)

高橋 由美子 (たかはし ゆみこ) さん

十日町市生まれ。専修大学文学部卒(村落社会学)。1986年十日町市役所入庁後、十日町市博物館では学芸員として重要有形民俗文化財「十日町の積雪期用具」の申請業務を担当、その後、十日町市石彫シンポジウムや、第1回目の大地の芸術祭などに携わる。

十日町情報館では、被災した古文書・古写真などの収集・保存・活用を市民ボランティアと協働で実施し、「新潟県中越大地震と資料整理」を執筆(新潟県出版文化賞記録紙部門賞受賞)。十日町市史・上越市史・湯沢町史の民俗部会調査員。

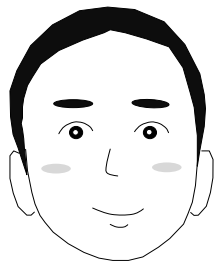


上越市立水族博物館うみがたり 館長(新潟県上越市)

櫻 健太郎 (さくら けんたろう) さん

1971年宮城県仙台市生まれ。早稲田大学教育学部生物学専修卒。1996年株式会社横浜八景島入社。入社当時は、シロイルカやペンギン、ホッキョクグマなど海獣類の飼育担当として入社。その後、企画担当、教育普及担当、ショートトレーナー、運営担当など水族館運営に係る様々な業務を経験。

2015年4月から株式会社横浜八景島が上越市立水族博物館の指定管理者を受託するにあたり上越市に赴任。旧水族博物館の時代から館長を務めている。楽しく学べる施設づくりを目指す。



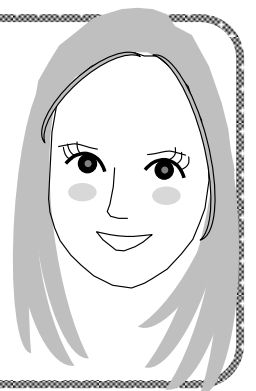
## 特別ゲスト

国際日本文化研究センター 国際交流基金フェロー

(京都府京都市)

キャロリン・ワグナーさん

1990年アメリカ生まれ。ピッツバーグ大学博士後期課程在学中。専門は日本美術史。国際交流基金日本研究フェローとして2018年8月に来日。現在、国際日本文化研究センター(日文研)にて「仏陀の具体化：中世日本の繡仏における女性の存在」をテーマに研究活動中。以前には皇學館大学に留学し、沖縄県と宮城県仙台市にも住んでいた。2015年文化庁「海外日本美術資料専門家の招へい・研修・交流事業」の参加者として東京・京都・奈良・博多での博物館で研修も行い、海外での日本資料情報提供やアクセスにも関与。趣味はランニング。



# 第7回信越県境地域づくり交流会 参加申込書

締切  
12月4日(火)  
(先着順)

太枠内にご記入の上、FAX またはメールにてご送付ください。

**基本情報**

1人1枚のお申込みになります。複数人の場合はお手数ですがこの用紙をコピーいただくか、申込書をダウンロードしてご使用ください。<http://www.city.joetsu.niigata.jp/site/souzou-gyosei/kenkyo-koryukai7.html>

ふりがな お名前		e-mail	@
ご所属		TEL	( )
市町村名	市・町・村	FAX	( )

◇個人情報、定員に達した場合や開催中止の場合、本会の補足説明を行う場合など、ご本人への連絡のみに使用いたします。

**プログラム**

参加されるプログラムに○をつけてください。(ディスカッション参加者はA・B・Cいずれかを選択)

12/7 (金)		
14:30	開会 第1部 講演・トークセッション 無料/定員 120名	・受付開始は14:00です。 ・地域づくりに関するイベントや活動を紹介する資料がありましたら、資料コーナーに配置しますのでご持参ください。
18:20	閉会	
18:30	第2部 情報交換会 参加費 2,000円/定員 50名	・立食形式にて登壇者や参加者の皆さんと交流を深めます。 ・参加費は受付にてお支払いください。
20:00		
12/8 (土)		
A B C	9:30 第3部 ディスカッション 無料/定員 50名	・この地域のミュージアムを活かすアイデア出しをします。専門知識は不要です。ご希望のテーマをお選びください。 A ミュージアムを活かした観光地域づくりを進めたい B ミュージアムのかたて人々のつながりや元気を生み出したい C ミュージアムを地域づくりやビジネスの発生源にしたい
	12:20	
	12:30 エクスカーション 弁当代 1,000円/定員 20名	・昼食後、上越市内の歴史博物館、水族博物館を見学します。(“駆け足”にはなりますが、解説もあります。) ・弁当代は昼食時に集金します。 ・エクスカーションのみの参加はご遠慮ください。 ・終了後、直江津駅・高田駅・上越妙高駅へも送迎します。
	16:00	

**送迎**

会場⇄高田駅間をマイクロバスにて送迎します(無料・予約制)。乗車されるバスに○をつけてください。

12/7 (金) <いき>		12/7 (金) <かえり>	
13:50	高田駅前 → 14:05 会場 <接続する電車> 越後湯沢・糸魚川(乗換)→13:34 直江津→13:43 高田 13:00 妙高高原→13:36 上越妙高(新幹線接続)→13:42 高田	20:10	会場 → 20:25 高田駅前 <接続する電車> 20:32 高田→20:41 直江津→(乗換)越後湯沢
		20:40	会場 → 20:55 高田駅前 <接続する電車> 21:05 高田→21:11 上越妙高(新幹線接続)→妙高高原 21:08 高田→21:17 直江津→(乗換)越後湯沢・糸魚川
12/8 (土) <いき>		12/8 (土) <かえり>	
9:00	高田駅前 → 9:15 会場 <接続する電車> 越後湯沢・糸魚川(乗換)→8:43 直江津→8:51 高田 8:02 妙高高原→8:45 上越妙高(新幹線接続)→8:50 高田	12:25	会場 → 12:40 高田駅前 <接続する電車> 12:46 高田→12:52 上越妙高(新幹線接続)→妙高高原 12:46 高田→12:55 直江津→(乗換)越後湯沢・糸魚川

- ◇ 宿泊先は、各自で確保をお願いいたします(高田駅周辺が便利です)。
- ◇ 自家用車等での交通アクセスは、会場のホームページをご覧ください。<http://www.city.joetsu.niigata.jp/site/lauren-plaza/>

**アンケート**

当てはまるものに○をつけてください。交流会開催の参考とさせていただきます。

① ミュージアム* との関わりについて (* 博物館・美術館・水族館など。図書館も含まれます)	仕事で関わっている ・ 余暇に利用している ・ あまりない
② 地域づくりとの関わりについて	仕事で関わっている ・ 余暇で活動している ・ あまりない